



プレーパーク レポート

第9号

2023年1月
小鹿野町



子どもも大人も本気で遊んで
楽しかった~♪。

落ち葉でたくさん遊んだよ！

11月27日の開催では、「落ち葉であそぼう！」の回でした。事前に集めた落ち葉の量は例年以上で、遊びに来た子どもたちの期待は早くも高まっていました。まずは落ち葉を詰めた大きな袋を子どもや親と東屋から広場に運ぶところから遊びとしてスタートしました。

袋に落ち葉を詰めた状態でそのままいくつかを囲いにして、囲いの内側には大量の落ち葉を入れて飛び込み遊び。ゴーグル持参で思いっきりかけ合いを楽しむ姿もありました。子ども同士はもちろんですが、大人相手にかかけ合いが始まると一層白熱して盛り上がっていました。



プレーリーダー養成講座

今回は遊び場の実施と同時開催で「大人の関わり方」の現場学習でした。

私たち大人は時に良かれと思って子ども遊びに対して指示したり、教えたり、手伝ったりしています。しかし、これらは、子どもが当初やりたかったことが大人の介入により変化してしまいかねず、邪魔に感じることにつながる可能性があります。

子どもから「来て、見て、聞いて、遊ぼう、手伝って」などと遊びの世界に招き入れるサインが出ている際は、できるだけ子どもの遊びをおもしろがり、成り行きに付き合い、頼まれた時だけ手伝えるという寄り添い方が必要です。一方、サインがなく子どもだけで遊びに没頭している際は介入はせずに見守ります。

遊びの様子

落ち葉は開催時間中にも村の広場で集めました。大人が使うエンジプロアに興味津々の子どもに運営メンバーは危なくないようにサポートしながら触れられるような寄り添いをしていました。

これだけの量の落ち葉が集まると、他に何の遊具もないですね。自然の恵みでもあり、最高の遊びの素材、落ち葉を満喫しました。



焚き火ではマシュマロの差し入れがあり、焼きマシュマロを楽しみました。火おこしも子どもたちが枝拾いからマッチでの着火まで自分たちでやっており、大人はサポートと見守りに徹します。

立木にロープを結び、揺らしたり渡ったりするモンキーブリッジもみんなで引っ張ってつくりました。いつもはロープを全部使って回遊できるように三角形にするのですが、落ち葉の人気もあって、二点のみで設置。用意してあるもすべて出すのではなく、子どもたちの様子で足し引きしています。

たっぷり落ち葉で遊んだ一日でしたが、一番の盛り上がりは片付け時でした。袋に落ち葉を詰めながら子どもたちも入って大笑い！

一緒に片付けていた大人たちが「片付けだからちゃんとやりなさい！」なんて無粋なことを言わずに、子どもたちに合わせて袋に入った子どもたちに落ち葉を投げたりしている光景がとても良かったです。

「まわりでふざけないとおもしろくなんないもんね」と言っていたお父さんの声が最高でした。最後の最後まで遊び切るから、その後もしっかり落ち葉はすべて袋の中へ。遊ぶ様に片付ける。続けていきたいものです！



ハイライト

焚き火は風が強いとできないこともありますが、焼いたり温めたりして楽しそうなものは差し入れや持参は大歓迎です。

あくまで子どもの遊び場ですので大人中心のバーベキューなどでなければウィンナーやホットサンド、お湯を沸かしてカップラーメンやインスタントのカレーなども手軽で良いですね。遊んで食べて楽しみましょう！

